

# 枚方製造所

## 1 工場概要

- ▶ 住所 〒573-8573 大阪府枚方市中宮大池1丁目1番1号
- ▶ 従業員数 1,425名(平成24年4月1日現在)
- ▶ 敷地面積 326,880㎡(99,055坪)



## 2 事業概要

### ▶ 事業内容

- 鋳鋼事業部門 : 研究開発／技術設計／製造・工事／営業
- ポンプ事業部門 : 研究開発／技術設計／製造・工事
- バルブ事業部門 : 研究開発／技術設計／製造・工事
- 建設機械事業部門 : 製造／営業

### ▶ 主要製品



MERT



縦軸斜流ポンプ



バタフライバルブ



ミニバックホー

## 3 工場変遷

- 昭和37年 (1962) ポンプ部門を枚方へ移転(枚方機械工場操業開始)  
鋳鋼部門を枚方へ移転(枚方鋳鋼工場操業開始)
- 昭和39年 (1964) 武庫川機械工場から枚方に総合機械工場を建設移転  
バルブ部門を枚方機械工場へ移転
- 昭和47年 (1972) 枚方機械工場を枚方機械製造所に改称
- 昭和49年 (1974) 小型油圧ショベル製造開始
- 昭和54年 (1979) 大型ポンプ・建設機械専用工場完成
- 昭和56年 (1981) ソフトシール仕切弁の製造開始
- 昭和59年 (1984) 枚方機械製造所・枚方鋳鋼工場・ハウス工場を統合し、枚方製造所となる
- 昭和61年 (1986) ハウス部門を別会社化し、機械部門・鋳鋼部門の構成となる
- 平成7年 (1995) 新素材開発部を枚方製造所に移転
- 平成11年 (1999) ISO14001認証取得
- 平成16年 (2004) リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰 会長賞
- 平成17年 (2005) ISO14001(2004年度版)へ移行  
エネルギー管理優良工場(熱部門) 近畿経済産業局長表彰
- 平成19年 (2007) ISO14001とOHSAS18001 マニュアル統合(OHSAS認証取得に伴う)

## 枚方製造所

### 4 環境方針

#### ▶ ISO環境方針

##### 基本理念

「豊かな生活と社会の基盤を支える製品・技術・サービスを通じて、社会の発展と地球環境の保全に貢献する」という経営理念に基づき、当製造所は環境保全と経済発展の調和をめざすと共に、「まずは安全、何より安全！」の認識の下、災害及び疾病の未然未然防止に取り組みます。

##### 基本方針

1. 環境と労働安全衛生の統合マネジメントシステムを構築し、継続的改善に努めると共に、関連の法規制並びに当製造所が同意する協定等を遵守致します。
2. 製造所の製品、事業活動、及びそれらに関係するサービスの各段階における環境負荷の改善と環境汚染の予防に取り組みます。
3. 当製造所の経済活動と環境課題を並立させるテーマの計画的改善活動に努めます。
4. 危険有害要因の特定・評価に基づくリスク除去・低減対策を計画的に進め、すべての従業員並びに関係者の災害や疾病の未然防止に取り組みます。
5. 製造所の全域で快適な職場環境づくりをめざすと共に、全従業員の心身の健康づくりを推進します。
6. すべての従業員が環境・安全衛生に高い意識を持ち、自ら社会的責任を果たせるよう、継続的な教育訓練や啓発活動に努めます。
7. 地域社会、公的機関、お客様、従業員の家族などの利害関係者らと常に良好なコミュニケーションを維持します。

—— この方針は社内外に開示します ——

制 定 1999年 3月15日

見直し 2010年 5月1日

株式会社クボタ 枚方製造所

製造所長 小野 洋祐

#### ▶ ISO14001 認証取得状況

認証取得年月日：1999年9月17日

2004年度版更新年月日：2006年4月12日

審査登録機関：LRQA

## 枚方製造所

## 5 環境保全中期計画 目標及び実績

課題	テーマ	管理指標	基準年度	2011年度			
				目標	実績	自己評価	目標未達の理由
地球温暖化防止	CO <sub>2</sub> の削減	CO <sub>2</sub> 排出原単位	2008	▲7%	▲21.5%	◎	
		CO <sub>2</sub> 排出量	2008	▲7%	▲5.4%	×	生産量増加のため
	物流のCO <sub>2</sub> 削減	CO <sub>2</sub> 排出原単位	2008	▲3%	+6.7%	×	製品構成の変化により、積載率が悪化したため
循環型社会の形成	廃棄物の削減	排出原単位	2008	▲6%	▲32.5%	◎	
	ゼロ・エミッション	埋立比率	—	0.5%以下	0.56%	×	目標は未達であるが、陶磁器くず等の再資源化により、今後は達成の見込み
	水資源の節約	水使用量原単位	2008	▲3%	▲28.7%	◎	
有害化学物質の削減	PRTR法対象物質の削減	排出移動原単位	2008	▲6%	▲20.3%	◎	

※自己評価の基準 ◎・・・目標超過達成 ○・・・目標達成 ×・・・目標未達成

注) 環境保全中期計画のCO<sub>2</sub>排出量実績値の算定の際は、2008年度の単位発熱量及びCO<sub>2</sub>排出係数を使用しています。

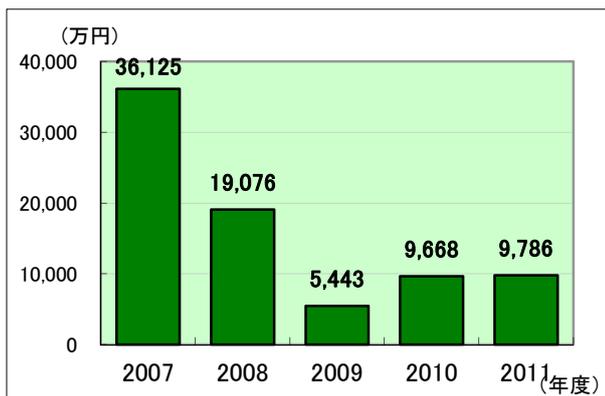
# 枚方製造所

## 6 環境会計

### ① 環境投資

2011年度：9786万円

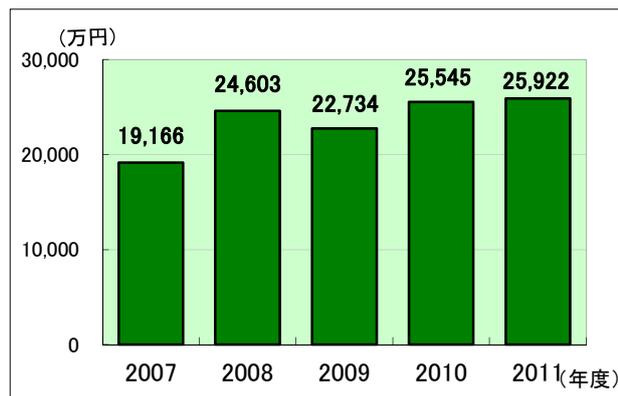
環境保全に関する投資額は約1億円で、  
集塵機の設置・更新等を行いました。



### ② 環境保全費用

2011年度：2億5922万円

環境保全に関する費用は2.6億円となり、  
前年度とほぼ同額となりました。



### ③ 環境保全効果

効果の内容	効果	2010年度	2011年度	効果	対前年度比
事業活動に投入する資源に関する効果	エネルギー使用量(熱換算TJ)	631.4	639.1	+7.76	101.2%
	水使用量(万m <sup>3</sup> )	17.1	18.7	+1.61	109.4%
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	CO <sub>2</sub> 排出量(t)	23,034	24,449	+1415	106.1%
	SO <sub>x</sub> 排出量(t)	-	-	-	-
	NO <sub>x</sub> 排出量(t)	2.5	3.0	+0.48	118.9%
	ばいじん排出量(t)	1.3	0.6	▲ 0.7	45.8%
	PRTR対象物質排出・移動量(t)	78.7	87.4	+8.64	111.0%
	廃棄物排出量(t)	3622	3728	106	102.9%
	廃棄物埋立量(t)	103	38	▲ 64.4	37.2%

### ④ 経済効果

2011年度：1億4435万円

環境保全活動に伴う経済効果は1億4435万円となりました。

分類	内容	年間効果
省エネルギー対策	塗装設備脱臭装置の改善、等	2,606 万円
ゼロ・エミッション化対策	有価物の売却	11,829 万円
合計		14,435 万円

# 枚方製造所

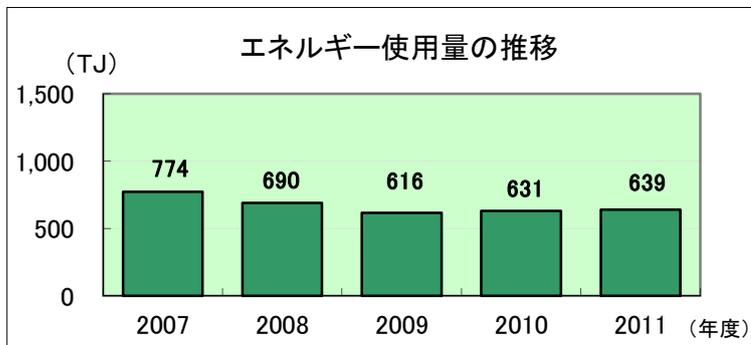
## 7 環境パフォーマンス

### ① 地球温暖化の防止

#### 省エネルギー活動

エネルギー使用量は、前年度より微増の639(TJ)となりました。

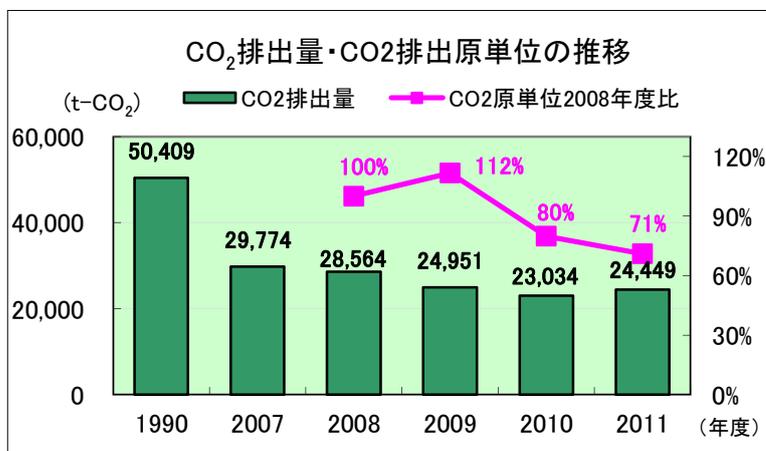
CO<sub>2</sub>原単位は、省エネ活動の成果及び増産により、2008年度比29%減となりました。



#### CO<sub>2</sub>排出量の削減

CO<sub>2</sub>排出量も2008年度より減少し、2.4万t-CO<sub>2</sub>となりました。

1990年度比では51%減となっています。



※CO<sub>2</sub>原単位2008年度比: 2008年度の生産金額ベースのCO<sub>2</sub>原単位を100とした場合の割合

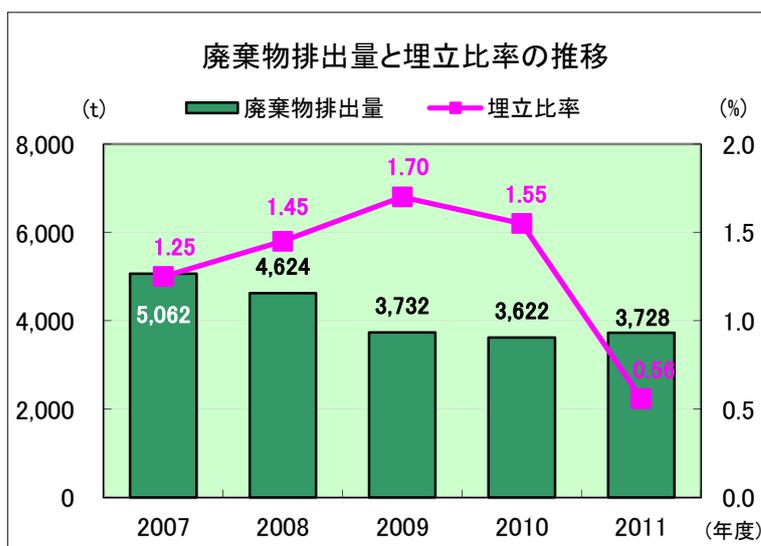
### ② 循環型社会の形成

#### 廃棄物排出量の削減

廃棄物排出量は、排出量削減の取り組みの成果により、増産だったものの2008年度比19%減となりました。

#### ゼロ・エミッション化

再資源化の取り組みにより2011年度は埋立比率0.56%となり、2008年度と比べて0.89ポイント下がりました。



注:埋立比率(%)=(直接埋立量+中間処理後最終埋立量)÷(有価物量+廃棄物排出量)

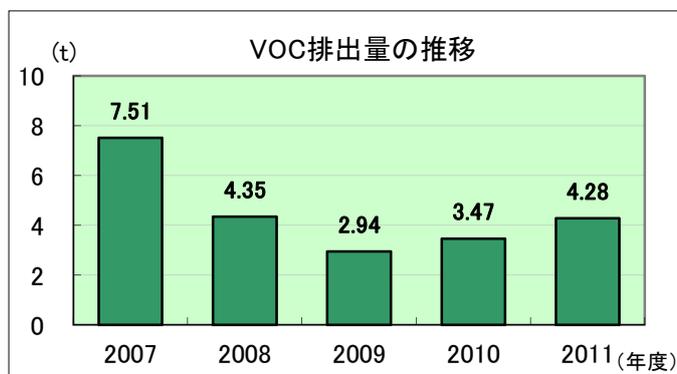
## 枚方製造所

### ③ 有害化学物質の削減

#### VOC大気排出量の削減

VOC発生施設全てに除害設備を設け、適正に管理しています。

VOC排出量は2008年度比で微減となりました。



#### PRTR法対象物質の排出量・移動量

単位: kg/年

政令No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
53	エチルベンゼン	955	0.0	0.0	0.0	0.0	19,435
80	キシレン	1,773	0.0	0.0	0.0	0.0	29,230
87	クロム及び3価クロム化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9,392
132	コバルト及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	113	0.0	0.0	0.0	0.0	2585
300	トルエン	1,434	0.0	0.0	0.0	0.0	16,977
308	ニッケル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14
405	ほう素及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7
412	マンガン及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5,455
453	モリブデン及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

### 環境TOPICS

#### 塗料に含有するPRTR対象物質(キシレン、エチルベンゼン)の削減

- ・ RPTR法対象物質の削減及び作業環境改善を目的として、塗料に含有する有機溶剤(キシレン、エチルベンゼン)の成分を見直し、使用量の多い黒色において、RPTR法対象物質22%削減を達成しました。

・ 今後は、他の色や硬化剤についても同様に成分の見直しを実施し、RPTR法対象物質の削減及び作業環境改善を実施していきます。

# 枚方製造所

## 8 環境コミュニケーション

### ① 地域美化活動

2011年 5月 他3回	製造所周辺清掃活動	155人
2011年 8月 3日	「クールダウンひらかた打ち水大作戦」	4人
2011年 11月 5日	天の川大掃除	14人



製造所周辺清掃活動



打ち水大作戦



天の川大清掃

### ② 教育への支援

2012年 2月8日	中国省エネルギー研修受入	37人
------------	--------------	-----



中国省エネルギー研修

# 枚方製造所

## 9 サイトデータ

### INPUT

エネルギー使用量	原油換算 KL	16,490
水使用量	万m <sup>3</sup>	18.7

### OUTPUT

CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub>	24,449
---------------------	-------------------	--------

排出ガス	主要ばい煙発生施設		No.3焼鈍炉			機械吹付塗装脱臭装置			No.2吸収式冷暖房機		
	項目	単位	規制内容	規制値	測定値	規制内容	規制値	測定値	規制内容	規制値	測定値
SOx	総量規制・K値規制とも	m <sup>3</sup> N/h	※硫黄分ゼロの都市ガス使用			※硫黄分ゼロの都市ガス使用			※硫黄分ゼロの都市ガス使用		
NOx	総量規制	m <sup>3</sup> N/h	総量規制	1.19	0.083	総量規制	1.31	0.095	総量規制	0.08	0.006
	濃度規制	ppm	濃度規制	180	33.0	濃度規制	230	35.5	濃度規制	150	32.8
ばいじん	濃度規制	g/m <sup>3</sup> N	濃度規制	0.1	0.008	濃度規制	0.1	0.006	濃度規制	0.05	0.0001

排水量	公共用水域	万m <sup>3</sup>	29.6
	下水道	万m <sup>3</sup>	-
汚濁負荷量	COD	kg/年	858
	窒素	kg/年	819
	りん	kg/年	69

※排水量に雨水を含んでいます

排水	放流先	項目	単位	B排水口	
				規制値	測定値
公共用水域		pH	-	5.8~8.6	7.3, 7.5
		BOD	mg/l	25	3.1
		COD	mg/l	25	3.4
		窒素	mg/l	120	6.0
		りん	mg/l	16	0.36
		六価クロム	mg/l	0.05	ND
		鉛	mg/l	0.01	0.01
		COD総量規制値	kg/日	38.0	2.4
		窒素総量規制値	kg/日	38.3	2.2
		りん総量規制値	kg/日	4.4	0.19
下水道		pH	-	-	-
		BOD	mg/l	-	-
		COD	mg/l	-	-
		SS	mg/l	-	-

廃棄物排出量	t	3,728
埋立比率	%	0.56